

わけぎ優良系統「熊本わけぎ1号」の選抜

本県わけぎの生産安定を図るため、在来系統の中から収量、品質が優れ、抽台しない「熊本わけぎ1号」を選抜した。

農業研究センター農産園芸研究所野菜部（担当者：田尻一裕）

研究のねらい

わけぎは、県内においては特産野菜ひともじとして地場消費を中心とした需要はかなり高い。このような中、県内で生産されているわけぎは来歴も産地で異なっており、それぞれの産地や生産者による種球の選抜が長年にわたって行われてきたため形質が不均一である。

このため、来歴が明らかで形質が均一化し品質の優れるわけぎを選抜し、品質の向上を図る。

研究の成果

< 来歴 >

在来系統の中から、収量が多く、抽台しない「熊本わけぎ1号」を優良系統として選抜した。

- 1 葉身が長く、大きさは中程度で、葉数が多い。
- 2 葉鞘の長さ、大きさともに中程度で、分球数はやや少ない。
- 3 形質が均一化されており、生産の安定が図られる。

普及上の留意点

- 1 冬穫り、春穫りに用いる。7～8月上旬の早い植え付けをする場合は、高温処理により種球の休眠を打破する。

表1 「熊本わけぎ1号」の特性

系統・品種名	草丈	葉長	葉鞘長	葉身径	葉鞘径	葉数	葉色	重量 /株	葉先枯 程度	球数 /株	抽台
	cm	cm	cm	mm	mm	枚	SPAD値	g			
熊本わけぎ1号	58.7	47.0	11.7	9.4	16.3	17.2	60.1	230	1.9	5.1	0
市販A	49.8	39.0	10.8	7.2	12.1	11.1	61.7	175	2.2	8.0	3.5
市販B	60.3	45.8	14.5	10.2	17.4	11.8	59.4	282	1.7	7.3	3.0
市販C	56.6	43.4	13.2	11.0	15.1	11.3	59.8	249	1.5	5.8	2.0

注1) 平成9年12月25日調査(抽台以外の項目)

注2) 抽台・葉先枯れ程度: 0~5(無~多)



写真1 熊本わけぎ1号